

2022年4月

会 員 各 位

一般社団法人 型技術協会

第32回型技術協会賞受賞者の決定について

本会では、型技術ならびに型産業のより一層の発展を図ることを目的に「型技術協会賞」を設け、1991年より「功績賞」「技術賞」「型技術論文賞」、1996年より「型技術者会議」および「型技術ワークショップ」の発表より総合的に優秀な講演者等を顕彰する「奨励賞」が設置され、特に優れかつ貢献度の高い型に関する技術等に対して、毎年顕彰を行っております。本年もそれぞれの受賞者を決定いたしましたので、ここに各々の受賞者をお知らせいたします。

なお、本賞における賞金および表彰に関する費用につきましては、(公財)金型技術振興財団の協力を得て行っております。

第32回型技術協会賞

「功績賞」

型技術の進歩、向上、発展に関して特に功績の大きかった個人

受賞者 **花木 義麿**（オークマ株式会社）



機電一体（機械だけでなく制御装置も自社開発）を追求、独自文化をつくった。知能化技術にも注力し、高精度と使いやすさを追求して様々な機能を開発し続けている。工作機械を通して、金型業界の発展に尽力された。

「技術賞」

特に優れた貢献度の高い型技術の開発者（一般公募）

受賞題目及び受賞者

3次元形状の金型を高精度化する補正手法の開発

栗山 邦隆、土屋 康二、室伏 勇（芝浦機械株式会社）

「型技術論文賞」

「型技術」誌に掲載された特に優れた論文等の著者

受賞論文及び執筆者

BEV車向けプラネタリギヤ用針状ころ軸受における保持器の樹脂化（2021.9月号）

村田 順司（株式会社ジェイテクト）

独自の“説明できるAI”を活用した板金プレス、
鋳造などの素形材加工技術の「汎知化」（2021.10月号）

乙部 信吾（株式会社LIGHTz）

「奨励賞」

型技術者会議および型技術ワークショップにおける優秀講演者および連名者

「型技術者会議 2021」

金型仕上げ加工用球形状 PCD 工具の加工メカニズムの考察

平野 直人 (日進工具株式会社)

カスリヤ ピラポン (キングモンクット工科大学トンブリ校)

神 雅彦 (日本工業大学)

金属積層造形(AM)電極による放電加工ー深リブ溝加工用電極の噴流穴形状の検討ー

柳田 大祐、南 久、中本 貴之、渡邊 幸司

(地方独立行政法人大阪産業技術研究所)

「型技術ワークショップ 2021」

樹脂成形金型の加工プロセス最適化による期間短縮の取組み

山内 隆志 (日産自動車株式会社)

プレス成形 CAE の予測精度向上への取組み

波多野 康彦、谷本 浩一 (株式会社ヒロテック)

プレス金型耐久性保証の仕組みづくり

小林 祐美、肥田 雅子、宮越 佳緒里 (トヨタ自動車株式会社)

※所属は論文掲載時による